



北上するナラ枯れ ー道南でカシノナガキクイムシを初捕獲ー

林業試験場 保護種苗部 保護グループ 徳田佐和子・和田尚之・小野寺賢介
森林総合研究所北海道支所 尾崎研一・上田明良
森林総合研究所 北島 博

研究の背景

- ・ナラ枯れは、「カシノナガキクイムシ」とその随伴菌「ナラ菌」によって樹木が枯死する現象です。
- ・ミズナラ、カシワ、コナラなどが被害を受け、特にミズナラが枯死しやすいとされています。
- ・近年、被害発生地域が北上しており、青森県では2019年から被害が大幅に増加しました。



写真-1 青森県の被害地（2020年10月）とカシノナガキクイムシ(体長約5mm)



図-1 ナラ枯れ被害木の特徴



図-2 2020年までにナラ枯れが報告された都府県

研究の内容

■道内でもナラ枯れの被害発生が懸念されることから、カシノナガキクイムシの生息調査を実施しました。



写真-2 フェロモントラップの構造と設置時の様子

・2020年、関係機関が連携し、北海道南端の3町（松前町、福島町、知内町）で、道内初のカシノナガキクイムシ生息調査を実施しました。

（※ 森林総合研究所・林業試験場が実施、北海道水産林務部ほか協力）

・今回は7月初旬～8月の1か月間、カシノナガキクイムシを引きつけるフェロモントラップを20カ所に設置しました。

研究の結果・結論

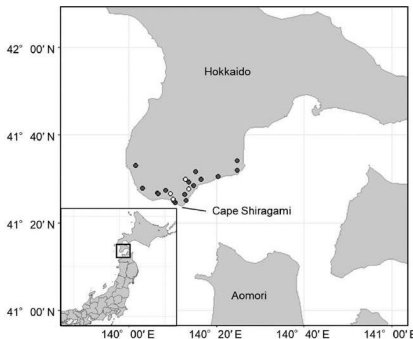


図-3 トラップ設置林分の位置
○：カシナガが捕獲された林分
●： " が捕獲されなかった林分
Ozaki et al. (2020) より



写真-3 松前産カシノナガキクイムシ
左:オス、右:メス

■松前町と福島町の森林（4カ所）で、カシノナガキクイムシ5個体（オス2個体、メス3個体）が捕獲されました。

■捕獲地周辺を探索した結果、ナラ類の枯死木は確認できませんでした。

- ・北海道で、カシノナガキクイムシを初捕獲！
- ・今後、北海道でもナラ枯れ被害が発生する可能性あり
- ・早期発見と被害発生時の初期対応（伐倒駆除）が重要！ 枯死木に要注意！

■お世話になった多くの方々にお礼申し上げます
■道総研研究費、JSPS科研費 (JP18K05735)により実施

ナラ枯れの疑いのある木を見かけたら、下記までご連絡をお願いします。

渡島総合振興局産業振興部林務課	TEL：0138-47-9472
渡島総合振興局西部森林室普及課	TEL：0139-42-2014
渡島総合振興局東部森林室普及課	TEL：0138-83-7302